

作家さんと飲み会。第1回

「大事」は飲み屋ではじまるもんだ！
パーソナリティのウサギがほろ酔いに
乗じて作家さんに質問！！
関西アマチュアアート界への熱い思い
を語ってもらうコーナーです。

和風作家 飛鳥さん

「創作活動+音楽活動=総合アート」

二足のわらじで大阪を駆け回る飛鳥さん。
和風好きならどこかで彼女と引き合わされるはず。



—飛鳥さんの創作活動のルーツって？

両親がデザイン業に携っていたこともあって、アートに触れる機会が多く自然と関心を持ったんだと思います。イラストは思い返せば小学生の頃から好きでコツコツ描いていて、高校生の頃にはアクセサリーも作り始めて…。作品を出展するようになったのはつい最近なんですけどね。そういえば、バンド活動も高校生から始めました。中学校の文化祭で見た先輩のステージに憧れたんです。だからルーツは育った環境と、純粋な憧れかな、と思います。

—なぜ「和風」にこだわるんですか。

和風の作品を作り始めたきっかけは、2年前にドラマーとして和風ロックバンドに加入したことです。演奏面だけでなく、ホームページや印刷物、グッズ等のデザインも手掛けてきました。これは私のこだわりかもしれませんが、バンドの魅力って、楽曲だけでは伝えきれない部分があると思うんです。デザインがあるから楽曲の魅力も増す。そんな相乗効果を生みたくて和風作家としての創作活動も始めました。



◀ 飛鳥さんが手掛けた
和風ロックバンドのCDジャケット

—ハードな活動ですよ。モチベーションはどこから？

そうなんです。バンド練習に作品制作に、本業の合間に作業時間を確保することの大変さを痛感してます。甘く見てました。兼業作家(※)の皆さんをほんまに尊敬しています。とくに私はアイデアを練りこんで形にするのに、かなりの時間がかかるんです。それでもモチベーションを維持できるのは、活動を通じて得た人との繋がりや刺激で、自分の成長を実感できるからだと思います。

—活動の幅が広がって面白そうですね。

私は音楽活動、創作活動と区別せずに「総合アート」だと思って活動し続けたいと思います。作品そのものだけでなく、それを取り囲む全ての要素にアートが散りばめられていますから。和風の世界観が好きの方に向けて、あらゆる場できっかけを発信できるような活動をしていきたいと思っています。

—飛鳥さん、ありがとうございました！また飲みましょう！

※兼業作家… 作家活動以外の仕事もしながら創作活動を続ける人を指す。兼業農家をもじった造語。



オマケ…

酔った勢いで「太●の達人」で飛鳥さんに勝負を挑むウサギ。現役ドラマー相手に奮闘するも、予想通り敗北。そしてご満悦の飛鳥さん。

●飛鳥さんの作品はここで●

出展：comicon・ComiCity 大阪・daydream 等 関西圏の展示即売会で月1出展

※詳しくはホームページをご覧ください。

twitter ID : asisle

pixiv ID : 843520

web : <http://www.root36.net/>